



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6167 URL <https://www.fujidie.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 久保井 恒之  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役業務本部長(氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,107	△1.6	290	△9.8	331	△9.3	237	△1.6
2023年3月期第1四半期	4,175	3.3	322	5.2	365	12.0	241	1.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 279百万円(△10.0%) 2023年3月期第1四半期 310百万円(0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	11.95	—
2023年3月期第1四半期	12.17	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	25,891	20,037	77.4
2023年3月期	26,253	20,392	77.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 20,037百万円 2023年3月期 20,392百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	2.8	470	△18.7	510	△22.9	370	△18.6	18.65
通期	17,800	3.6	1,170	1.7	1,230	0.4	890	△31.1	44.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) ー 、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	20,000,000株	2023年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	164,998株	2023年3月期	164,998株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	19,835,002株	2023年3月期1Q	19,800,895株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に象徴されるように、コロナ禍からの正常化の動きが強まる方向にあり、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられたものの、依然としてウクライナ情勢の長期化による資源価格や物価の上昇、世界的な金融引き締めの影響等により、景気の先行きは不透明な状態が続きました。

こうした状況のなか、当社グループは「革新（勇猛果敢）」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。

また、2021年度（2022年3月期）から、3カ年を対象期間とした中期経営計画を策定しており、3年目となる2023年度（2024年3月期）も、筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築を目指して、1. 生産性向上・業務効率化、2. 次世代自動車への対応・拡販、3. 新成長エンジンの創出、4. 海外事業の強化の諸施策に取り組んでおります。

超硬製工具類では、一部の半導体関連需要が市況の変化等により低調となり、関連する工具の販売が低調に推移しましたが、海外向け溝付きロールや一部の鋼管用ダイス（プラグ）の販売が好調に推移した結果、売上高は1,191百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

超硬製金型類では、光学素子成型用金型の販売が好調に推移しました。また、自動車の電動化に関連し、車載電池用金型の販売が好調に推移したものの、部品メーカーの在庫調整も影響し、自動車部品用金型の販売が低調に推移した結果、売上高は983百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

その他の超硬製品では、一部の半導体関連需要が継続し関連する金型の販売が堅調に推移したものの、ゼロコロナ政策以降、景気低迷が継続している中国市場の影響を受け、中国向け素材販売が低調に推移した結果、売上高は944百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

超硬以外の製品では、一部の鋼製自動車部品用金型の販売や、KF2製混錬工具の販売が堅調に推移したものの、引抜鋼管の売上が低調に推移した結果、売上高は987百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,107百万円（前年同期比1.6%減）となりました。利益につきましては、営業利益は290百万円（前年同期比9.8%減）、経常利益は331百万円（前年同期比9.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は237百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、25,891百万円（前連結会計年度末26,253百万円）となり、361百万円減少いたしました。流動資産は15,295百万円（前連結会計年度末15,724百万円）となり、429百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が286百万円減少、受取手形及び売掛金が156百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は10,595百万円（前連結会計年度末10,528百万円）となり、67百万円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定が113百万円減少したものの、建物及び構築物（純額）が149百万円増加したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の部は、5,853百万円（前連結会計年度末5,860百万円）となり、6百万円減少いたしました。流動負債は4,187百万円（前連結会計年度末4,197百万円）となり、9百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる前受金が66百万円増加、賞与引当金が150百万円増加したものの、未払費用が240百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は1,665百万円（前連結会計年度末1,662百万円）となり、3百万円増加いたしました。

#### (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、20,037百万円（前連結会計年度末20,392百万円）となり、355百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が237百万円増加、剰余金の配当により利益剰余金が634百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日付の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,572	6,285
受取手形及び売掛金	3,110	2,953
電子記録債権	1,387	1,429
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	201	307
仕掛品	1,741	1,704
原材料及び貯蔵品	1,521	1,466
その他	193	152
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	15,724	15,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,598	3,748
機械装置及び運搬具（純額）	2,013	1,944
工具、器具及び備品（純額）	226	247
土地	2,713	2,719
建設仮勘定	1,173	1,059
有形固定資産合計	9,724	9,719
無形固定資産		
その他	85	145
無形固定資産合計	85	145
投資その他の資産		
投資有価証券	279	295
長期貸付金	10	8
繰延税金資産	382	382
その他	46	44
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	718	730
固定資産合計	10,528	10,595
資産合計	26,253	25,891

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,013	1,884
短期借入金	33	34
リース債務	16	16
未払金	586	709
未払費用	667	427
未払法人税等	132	103
賞与引当金	209	360
役員賞与引当金	39	-
その他	498	651
流動負債合計	4,197	4,187
固定負債		
リース債務	38	35
繰延税金負債	10	12
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,610	1,615
その他	0	0
固定負債合計	1,662	1,665
負債合計	5,860	5,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164	164
資本剰余金	1	1
利益剰余金	19,821	19,423
自己株式	△107	△107
株主資本合計	19,879	19,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	132
為替換算調整勘定	338	369
退職給付に係る調整累計額	53	54
その他の包括利益累計額合計	513	555
純資産合計	20,392	20,037
負債純資産合計	26,253	25,891

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,175	4,107
売上原価	3,073	2,983
売上総利益	1,102	1,124
販売費及び一般管理費	779	833
営業利益	322	290
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	3	4
受取賃貸料	6	6
為替差益	30	20
補助金収入	3	5
その他	0	4
営業外収益合計	47	43
営業外費用		
支払利息	4	0
寄付金	-	1
その他	0	0
営業外費用合計	4	2
経常利益	365	331
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	18	0
減損損失	1	-
特別損失合計	19	0
税金等調整前四半期純利益	346	330
法人税等	105	93
四半期純利益	241	237
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	237

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	241	237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	11
為替換算調整勘定	88	30
退職給付に係る調整額	△2	0
その他の包括利益合計	69	42
四半期包括利益	310	279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310	279
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間  
(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。